

第4回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会 議事録

1 日時

平成28年2月23日（火） 13時30分～14時30分

2 出席者

（委員）小林勝衛委員長、小池幸夫委員、堀信幸委員、味戸裕幸委員、
佐藤恭央委員、古川雄二委員、高橋裕三委員、野崎靖之委員、
長久保重行委員、小林成吉委員

（泉崎村）村長、副村長、教育長（以下事務局）
総務課長、総務課企画財政グループ長

3 議題

（1）泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略（最終案）について

4 決定事項・確認事項

（1）泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略については本案をもって決定した。

（2）この委員会は解散せずに継続していく。

5 発言者名、発言者ごとの発言内容

以下のとおり

司会(総務課企画財政グループ長)	<p>ー開式ー</p> <p>本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今から、第4回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会を開催いたします。</p> <p>始めに、泉崎村長久保木正大よりご挨拶申し上げます。</p>
村長	<p>ーあいさつー</p> <p>皆さん、こんにちは。日中、お忙しい中、再度ご参集を賜りまして、心から御礼を申し上げます。</p> <p>本日は第4回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会ということでご苦労さまでございます。</p> <p>第4回目を迎えるということで、国への提出期限もございまして、今日はまとめる形で、提案をさせていただきますけども、今後、皆さま方に、提出したからそれで終わりではなくて、これからも村といたしましては、皆さんのご意見を伺いながら、いろいろ提言をいただきたい、そして、それを具現化していきたいと考えております。</p> <p>これは全国の市町村で、それぞれが考えて、いろいろな提言をされているということでございまして、国から各市町村単位で、自分の地域を自ら考えてくれという指針なのだろうと。</p> <p>また、別の見方で、国の政策が具体的なものがなくて、地方に丸投げしているのではないかということが、なくもないのですが、我々は自分の住むところを自ら考えて行こうと、そして1番事情の分かっているのも我々であると、ということで真剣に考えて行かざるを得ないだろうと思っています。</p> <p>地域創生イコールこの地域の活性化ということなのだろうと思います。</p> <p>いろいろ農業の問題でも、農家が多いですから、その辺も考えなければならぬ。</p> <p>あるいは、今のご時世、勤める方々も随分多いです、兼業はなくなりました。</p> <p>そういった意味では、企業誘致等を考えなくてはいけない。企業の中身については、やはり企業で考えていただいて、これから活躍をして地元の企業に頑張ってください。</p> <p>農家も物を作るだけの時代ではなくなりまして、ですから我々も産直、直売所を考えたり、あるいは商品化を考えたりもしていかなければならない。</p>

そして、地域の魅力づくりを考えなければならないと思っています。

この人口減少につきましても、活性化とリンクしている。幸いお話をしているように、この県南地区、あるいは中通り地区は比較的、この減少率は恵まれておりますけども、しかし、それに甘えていますと、泉崎村の場合でも約1%近い減少が、毎年起こっている。

6,500人ですから、60人くらいは減っている。このままですと、深刻な問題になるということでもありますので、地域、立地条件については、県内では比較的恵まれていますので、真剣に考えていかなければならない。

1%を0.5%にすることでも、人口6,000人台というものを暫く確保できると。例え1%でも20年たてば2割ですから、やはり考えて行きたい。

そういった意味では、前回も子育て支援。これも若い人への魅力づくりも大事だろうということで、幼稚園等の無償化の提言をいただきましたので、今般の来月早々泉崎村の議会が始まりますけれども、当初予算に計上をさせていただきました。

幼稚園の完全無料化ということで、給食費から、あるいは、移動費、バス代とかですね。もちろん、利用料とかを無料化することで、1千数百万を予算化するというので、おそらく、議会の皆さんも理解していただいておりますので、多分、通るだろうなと思っています。

随時、これから、保育所もやはり働きやすい場という意味では考えて行かなければなりませんし、他の問題も、教育の問題とか、まずは、小さい子供さんたち、あるいは若い層が増えるような、努力が必要なのだろうと思っています。

そのような中身の素案になっているのかなと思いますので、慎重審議をしていただきたいと思いますと思っています。

つい先日、担当課の方から聞いた限りでは、やはり、国の方でも真剣に子育てについて考えているということで、第3子から市町村単位で実行に移したところは、お金を回してくれるということですから、その分また実現しやすいなど、そんなことで、色々面で精いっぱいのこと我々はやって参りたいと思います。

有意義な会議となりますように、ご検討いただければありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

司会

続きまして、小林委員長様からご挨拶を頂きたいと思います。

<p>小林委員長</p>	<p>皆様、こんにちは。大変、寒くなったり温かくなったり、三寒四温と申しますが、体調管理が難しい時期だなと思います。</p> <p>今、村長のお話がありましたように、皆さんに3回お集まりをいただいて貴重なご意見をいただいて、村として総合戦略の素案ができたということで、本日は、皆様方から確認をいただいて、村に答申をしていきたいと思っておりますので、どうか、この後、事務局の方から詳しく説明がございますので、その中で、皆様方から、何かお気づきの点がございましたなら、何なりとご意見を述べていただいて、この素案が村民に浸透していただいて、今後の行政に役立てていただきたいと思っております。</p> <p>幼稚園のことも、村長からお話が出ましたので、財源の方の確保も出来たということで、第3回の前回の会議の総合的な総意ということで、幼稚園の無料化は新年度から実施していただきたいと、申し上げましたが、早速、村長からお話がありましたように、平成28年で幼稚園の完全無料化ということで、実施していただく。</p> <p>そのためには、来月、定例議会がございまして、条例改正など説明がありますが、これは、議会のほうでも異議はないと思っております。</p> <p>これもすんなり議会のほうを通過するのではないかなと思っております。</p> <p>それでは、この後、早速、議事に入りたいと思っております。</p>
<p>司会</p>	<p>はい、小林委員長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>—議事—</p> <p>それでは早速、議事に入りたいと思っております。議事進行については私の方で進めさせていただきます。</p> <p>本日、総合戦略の最終案について協議をいたします。</p> <p>前回、総合戦略の基本目標ごとの数値目標や、基本的方針、重要業績評価指数について、ご協議をいただいたところですが、前回整理した中身を踏まえ、最終案について、事務局の方から説明を願います。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>はい、それで皆様のお手元にお配りをしました最終案をご覧くださいと思います。</p> <p>今回、修正箇所の説明をさせていただきます。</p> <p>前回と変わったところなのですが、2ページ目、ご覧いただきたいと思っております。</p> <p>赤字で書いてあるところになります。ふくしま創生総合戦略。</p>

こちらにつきましては、県の総合戦略の名称が確定しましたので、こちらは、福島県まち・ひと・しごと創生総合戦略という仮称でございましたが、今回、ふくしま創生総合戦略に決まりましたので、改めさせていただきます。

次の修正箇所でございますが、6ページをご覧くださいと思います。

まず、基本目標のところに数値目標がございます。

こちらの書き方なのですが、前回ご提出しました素案につきましては、47人（平成31年度）、その後、平成26年度47人という書き方でしたが、こちらの数値目標のところは全て、最初に26年度の数値を入れまして、矢印で31年度の目標数値を入れさせていただきます。

基本目標2、3、4、全て同じ形で、統一をさせていただいたところがございます。

次に、同じく6ページに重要業績評価指数がございます。

婚活イベント実施回数があるのですが、こちらにつきましては、3回10人27年度となっております。

こちらにつきましては、前は現状値という文言で表現をさせていただいておりましたが、平成27年度というふうに改めさせていただきますと思います。

こちらにつきましても、全ての重要業績評価指数、同じ形になっているところがございます。

次に、主な取り組みというものが書いてあるのですが、こちらにつきましては、前回までは、村の振興計画のどこに書いてあるのかというところが表記されておりましたが、こちらの最終案につきましては、そちらを取るという形で作り直してございます。

次に7ページのところで、幼児定期健診受診率のところに、前は多世帯同居世帯数というのがあったのですが、こちらの方は削除をさせていただきました。

同じく7ページの下のところになりますが、特定不妊治療費助成のところに、経済的理由による高校への非進学者数というものがあったのですが、こちらにつきましても、削除とさせていただいております。

次に基本的にお配りしました最終案につきましては、訂正箇所、赤字になっております。全て赤字になっておりますので、ご覧くださいと思います。

次の修正箇所ですが18ページをお願いしたいと思います。

基本目標4、安心を作るというところがございます。

こちらにつきましては、前回の資料自主防犯組織数0から1ということでございましたが、委員会終了後、委員の皆様から、1ではなくて行政区5つ、太田川地区、踏瀬地区、泉崎地区、関和久地区、北平山地区と5つありますので、それぞれに、1つつ作る目標値を掲げてはどうかというご意見がございましたので、こちらにつきましては、5という形に修正をさせていただきたいと思っております。

前回の素案と変わったところにつきましては、以上となります。

次に、先ほど村長からお話ございましたが、平成28年度当初予算につきましては、村長査定が終わりまして、来月3日開催予定の議会に上程する形になります。

今回の最終案、総合戦略の最終案の中身で当初予算に盛り込まれた部分、これの主な点についてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、初めに、7ページをご覧くださいと思います。

7ページの上の方、主な取り組みのところに、スクールゾーン内の交通安全設備の整備事業というところがございますが、今回の来年度予算の中に、小学校区、第1小学校、第2小学校、2つ学区がございますが、それぞれについて、道路の中央線あるいは、路側帯のところ、歩道を確保するという意味で、表示をきちんとする予算が計上されております。

また、その隣に放課後児童健全育成事業がございまして、こちらにつきましては、今まで児童館、第2小学校の近くにある児童館で、第1小学校の子供たちもお預かりをしていたのですが、28年度以降につきましては、第1小学校は第1小学校の校舎で、第2小学校につきましては児童館で、幼稚園につきましては幼稚園ということで、それぞれ保護者の利便性の観点から3箇所に分けて、こちらの事業を行うという形になっておりまして、そちらの予算が盛り込まれているところでございます。

次に中ほどにあるのですが、教育機器、教材の充実ということで、今回、28年度予算で中学校にタブレットを導入しまして、それを使って授業を展開していくことで、予算を計上されております。

また、その下にあります基礎学力向上推進事業、こちらにつきましては、中学校は数学と英語、小学校については土曜日、プチスクールということでやっているのですが、28年度も更にバージョンアップしながら事業展開を図るということで、1890万ほどの予算が盛り込まれているところでございます。

次に8ページをお願いしたいと思います。

先ほど村長からお話ございましたように、28年度幼稚園の無

料化ということで、今回、予算が計上されております。

全体で幼稚園の無料化にかかる経費14,296千円でございます。

この内、村が直接、支出する経費は給食費になります。給食費つきましては、6,959千円ほど予算計上しております。

その他に、通常ですと歳入、村の方に収入という形で入ってきます保育料とバス、こちらの方は無料という形になりますので、歳入として入ってこない形になります。

金額的には、保育料につきましては、5,976千円、バスにつきましては、1,361千円という形になりまして、無料化に係る経費ということで、トータル14,296千円という形で28年度予算に盛り込まれております。

次に9ページでございますが、企業誘致等につきましては、事業課の方で担当をしておりますが、情報収集といったものを密にしながら更なる展開を図っていくということで、住宅あるいは工業特会、こちらの方で予算措置がされているところでございます。

次に10ページをお開きいただきたいと思います。

製品の販路拡大というところがございますが、こちらにつきましては、同じく事業課の方で、県のサポート事業を利用しながら特産品の開発、あるいは販路拡大に今、努めているところでございます。

28年度につきましても、このサポート事業を利用しながら、更に事業展開をしていくという形で考えているところでございます。

また、11ページをご覧いただきたいと思います。未来につながる農業作りというところがございます。

こちらにつきましては、主な取り組みの中に経営体育成対策というのがございます。

27年度も実施していたところでございますが、28年度につきましても、県の補助事業を利用しながら専業農家の育成を図っていくという形での取り組みを行っていくという形になります。

続きまして、12ページをお願いいたします。

12ページにつきましては、農業の担い手の育成確保というところがございます。

こちらの主な取り組みのところに、新規就農者等への支援というのがございますが、27年度に引き続きまして28年度も予算化しているところでございます。

単身者150万円×3人分、それと、夫婦世帯ということで、1世帯225万円になりますが、こちらも1組を予定しながら28年度の予算に盛り込んでいる中身でございます。

続きまして、14ページをお開きいただきたいと思います。

移住定住促進に係る事項でございますが、若者定住賃貸住宅建設というのが主な取り組みの中にございますが、こちらにつきましては、平成27年度、天王台ニュータウンの方に1棟、建設をしているところでございます。

28年度につきましても更に予算化しておりまして、こういったところを利用しながら、定住者を増やしていくという施策のために今回、予算組がされているところでございます。

また、15ページにございますが、上の方、高速バスの乗降所の設置というところでございますが、こちらにつきましては、矢吹インターの近くになりますが、矢吹町が中心となって、今、施策を進めているところでございますが、バスストップの建設ということで取り組みを進めております。

今年度泉崎村の負担金ということで計上をさせていただきまして、28年、29年の2カ年の負担金を納めながら30年4月に使えるような形で進めていきたいということで、矢吹町と一緒にやっているところでございます。

また、15ページの下のところでございますが、国内外からの観光誘客というところで、観光施設のホームページ作成事業、こちらにつきましては、27年度の事業で実施をしたところでございます。

そのホームページを利用しながら28年度も更なる展開を図っていくという形になろうかと思っております。

また、その下の公衆無線LAN、こちらにつきましても、同じく27年度に整備をしているところでございますが、新たに28年度3箇所ほど増設をしながら、利便性の向上に向けて取り組みを進めていきたいと考えているところでございます。

次に、16ページをお願いいたします。

観光地の再生ということで、泉崎カントリーヴィレッジの整備の推進という項目の主な取り組みがでございます。

カントリーヴィレッジにつきましては、隣接したところにパークゴルフ、平成27年度から動きがあるところでございますが、更にこういったものを利用しながら、観光客の誘客を図るという点で、28年度も引き続きこちらの整備に努めていくという、予算組がされているところでございます。

次に17ページでございますが、重要行政評価指数のところに文化財マップというものがございます。

こちらにつきましては、村外の方に見ていただくのは勿論なことなのですが、村内の小学生の副教材ということでも利用できること

	<p>から28年度に作成をしながら、PRをしていくことを考えているところでございます。</p> <p>次に19ページをお願いいたします。</p> <p>暮らしの安全安心の確保というところで、空き家等対策の推進というところがございます。</p> <p>こちらにつきましては、主な取り組みの空き家対策事業、27年度で、今、調査をしているところでございますが、調査が出来次第、空き家バンクというものを作りまして、移住希望者とのマッチングを図りながら、28年度事業を進めていくという形で考えているところでございます。</p> <p>次に、20ページをお願いいたします。</p> <p>医療と福祉の充実連携というところでございます。</p> <p>こちらにつきましては、地域密着型特別擁護老人ホームを0から、31年目標、1という形になっておりますが、こちらの方も28年度以降、積極的に推進して参りたいと考えているところでございます。</p> <p>次に基本目標5のまちをつなぐ、22ページになります。</p> <p>地域間連携の推進ということでございますが、白河地域定住自立圏構想の推進ということで、協定を結んで27年度締結をしています。</p> <p>そちらを有効活用しながら広域的な取り組みを行う形で事業展開を図っていく形で28年度想定をしているところでございます。</p> <p>なお、23ページから資料ということで、地域創生人口対策本部設置要綱、並びに委員会設置要綱、更に委員の皆様の名簿と今回の総合戦略の策定経過ということで掲載させていただきました。</p> <p>こちらは後でご覧いただきたいと思っております。</p> <p>今回の最終案についての説明は以上でございます。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p>
小林委員長	<p>ただいま、事務局の方から説明がございました。皆様からお気づきの点がございましたなら、質問をお受けしたいと思っております。</p>
村長	<p>全体の説明はこれで全部。</p>
総務課企画財政グループ長	<p>はい、これが最終案になりまして、こちらをご審議いただきまして、村の総合戦略として国の方に報告をしたいと考えております。</p>
村長	<p>人口の方は。</p>

<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>人口ビジョンにつきましては、前回、ご了承をいただきましたので、前回と同じ資料になります。</p> <p>委員の皆様には、最終案をご承認いただいた後に、きちんと製本してお送りしたいと考えております。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>何かございませんか。</p> <p>はい、長久保さん。</p>
<p>長久保委員</p>	<p>今まで話してきたこと、村長さんのお話しや事務局のお話しで、来年度から予算化もされるということで、大分、行政の方にも理解していただいたなと思っています。</p> <p>また、前からの話なのですが、人口減少対策というのは、短期間ではないということは確かなのですね。</p> <p>これをやったから単年度でできるかと、あるいは5年でできるかというのではなくて、やはり5年10年スパンでの話しだと思いますので、行政の方としても、これからそういう形の中で、いろいろ対応していただければありがたいと思います。</p>
<p>村長</p>	<p>子育て支援を含めた人口対策ですけども、やはり若者が増えないと将来はないということで、このところは力を入れたい。</p> <p>その時に出生率を上げるとなると、これは非常に我々のレベルでは大変だと、ですから国も含めた方針、対策と言いますか、バックアップというものが大事なのだらうと思いますが、それ以外の部分については、我々もしっかりと対応をしたい。</p> <p>それは、流出人口が増えている。そして、先ほどの子育て支援を含めて、やはり、流入人口も当然考えていかなければいけない。</p> <p>先ほども、天王台ニュータウンのところで、賃貸住宅建設、間もなく1棟完成しますけれども、今年もやりたい。</p> <p>それは、子供さんがいる。今考えているのは、2人以上いる世帯をそこに、利用してもらって、賃貸、借りてもらおうという方法をやっているのですが、そういったことを含めて、流入人口を出来るだけ多くしたいということなのですけども。</p> <p>そういうことを地道にやっていかないと、やはり減少率と言うのは止まらないだらうなという思いなのです。</p> <p>ですから、そういった施策をやっていく、あるいは、谷地久保の住宅ですね、今、4、5棟くらい古いのがあるのですけど、1棟に1人くらいしか入っていないのです。</p>

	<p>何世帯分もあるのですが、1棟に1世帯分しか入っていないのですね。</p> <p>その辺を整理しながら、そこのところは有効活用を図りたいなど。できれば、土地を無償に近い形で提供して、そこに住んで建てることを条件にしてやるとか。</p> <p>いろいろな細かいところをやっていかなければいけないだろうなと思っています。</p> <p>総合的な、東京と近い位置的にある立地条件、泉崎村は比較的恵まれているなと思っていますので、そういった努力をすることによって、もちろん企業誘致もそうですが、人口対策、最小限の歯止めになっていくのかなと思っていますので、皆さんとこれから、いろいろな知恵を出し合いながら、やっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
小林委員長	先ほど第3子からの国の補助金制度。どういう制度なのか。
副村長	第3子以降の国からの助成があるところ説明して。
総務課企画財政グループ長	<p>平成28年度の当初予算に盛り込まれたところだけの情報なのですが、私のところで把握しているのは、若干の所得制限が設けられるのですが、第3子については基本的に無料化にするということで、その分については、国のほうで補助金をよこすという中身だと思います。</p> <p>所得制限がどの程度だったかまでは不確かなのです。</p> <p>多子世帯については、県からお金をいただいております、27年度でも泉崎では30数名の対象者がおりまして、補助金をいただいております。</p>
村長	それは、所得制限があるの。
総務課長	<p>村のほうで負担を軽減したものが該当になるということで、33名の方が該当しているのです。</p> <p>18歳以下の子供さんが3人以上いた者で、保育所、もしくは幼稚園の方に通園している者が該当になっています。</p>
村長	いずれにしても、第3子あたりからは、バックアップしてくれるということがあるものですから、今、村でも、保育所、幼稚園、皆さん無料にしているのですが、その分の負担が少なくなるので、

<p>小林委員長</p>	<p>その分を第2子に、今、保育所はやっていませんけども、第2子から無料化にすることも、可能になるなど思っているところなのですが、いずれにしましても、完全無料化を早く実現したなど思っています。</p> <p>今は、30数名が該当している、その分を第2子にまわすという方法が取れるのかなと、それを実行していないとバックアップが受けられないということですから、今度の幼稚園でも実現するので、その分の負担分は、若干楽になるのかなと思っています。</p> <p>その他に皆さんから。 はい。</p>
<p>味戸委員</p>	<p>12ページの③農業担い手の育成確保のところ、150万円の補助が3名と、225万円の補助が1組と、お話しがあったようですが。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>はい。こちらの事業につきましては、27年度も実施しているところなのですが、現在、単身者の150万につきましては2名。 夫婦世帯につきましては1組、27年度は2+1で3という形になるのですが、28年度につきましては、更にPR活動をしながら、就農者を支援していくということで、今現在おります2名、プラス1名分を追加しまして、予算を確保しているところでございます。</p>
<p>村長</p>	<p>これは国などからバックアップあるの。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>はい、ございます。</p>
<p>村長</p>	<p>ずっと継続する事業なの。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>5年間の継続事業で、その人についてです。 同じ人が5年間の継続という形になります。</p>
<p>村長</p>	<p>新規就農するだけで150万いただけるのですね。 他所の業種では考えられないような、夫婦でやると220万もらえるの。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>夫婦で225万円になります。</p>

ループ長	
村長	良いですね。若い夫婦で新規で就農するのは。
総務課企画財政グループ長	今、1世帯利用しております。
ループ長	
小林委員長	目標何人だけ。
総務課企画財政グループ長	31年度には6人。 単年度で6人くらいを目標にしております。
ループ長	
小林委員長	<p>先ほど村長さんのお話の中で幼稚園は無償化するのですが、思い切った施策をやらないと、人口減少対策にならないという考えがございまして、中学校の跡地なのですが、谷地久保に住宅団地がございまして。</p> <p>丁度、ここから見えるのですが、かなりの面積があるんですね。今、6世帯か5世帯。1棟に1人くらいしか入っていない。</p> <p>それが丁度、真ん中辺に入っていて、立ち退けとあって、公営住宅に引っ越してくれないかといっているが、なかなか上手くいかなくて、あそこを綺麗にして無償で土地を提供する。</p> <p>将来はそんなようなこともやりたいというのが、村の考えでございまして。</p> <p>もちろん条件はあって、子供が、先ほど天王台の住宅の件も出ましたが、幼稚園、小学生、2名以上いる夫婦ということでやりたいということでございます。</p> <p>この前、若い夫婦の話を聞いたのですが、今、出産祝い金というのは、村でいくら出しているのだけ。</p>
副村長	10万、30万、50万です。
小林委員長	第1子から。
村長	第3子からですね。
小林委員長	それが安すぎるというか、今、お産に55万くらいかかるようなので。

<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>8ページのところに、出産祝い金の贈呈対象の拡大という項目があるのですが、28年度につきましては、前年度と同様の金額の計上となっております。</p> <p>そういったところも目標を掲げながら、今回、総合戦略を策定しております。</p>
<p>村長</p>	<p>かなり手厚くやっているのが、矢祭町なのですね。</p> <p>かなり手厚いので、魅力の一つですね。</p> <p>今回も若干、考えたのですが、いろいろ事情がありまして、次に考えようというように決めたのですが。</p> <p>第3子が10万、4人目が30万、5人目が50万という、お祝い金は出しているのですが。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>5人目は100万くらい出してもいいかな。</p>
<p>村長</p>	<p>そのへんはめったに出ないから、なるべく早くやりますから。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>おそらく、年に1組もね。</p> <p>皆さんからのご意見もないようでございますので、総合戦略の最終案については、委員会として了承したということで、よろしいでしょうか。</p> <p>(会場から異議なしの声あり)</p> <p>ないようでございますので、委員会としては、最終案に了承したいと思います。</p> <p>以上で、総合戦略の素案についての協議を終了したいと思います。</p> <p>以上をもちまして、議事を終了させていただきます。委員長の任を解かせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
<p>司会</p>	<p>—その他—</p> <p>小林委員長、ありがとうございました。</p> <p>その他のところでございますが、今回の総合戦略の委員会の会議を総括していただきまして、小林委員長の方から再度、ご挨拶をいただければと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>

<p>小林委員長</p>	<p>ただ今、会としては、総合戦略の案を全員一致で了承したということでございます。</p> <p>私たちの意見も取り入れていただきまして、早速、28年度からは幼稚園の無料化、それから、各事業においても、ちょっと含みを持たした予算化をしているとの当局からの説明でございましたので、皆様の意見をこれからは尊重して、委員会としては、尊重して取り組んでいただきたいと思いますので、村長から今日だけではなくて、今後のことについてもお話いただきたいと思います。</p>
<p>村長</p>	<p>はい。それでは、本日の総合戦略の最終案をご承認いただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>これを基本にこれから、行政としてしっかり対応して参りたいと。また、その中で、皆さんに相談をしながら、これから更に進めたいと思っておりますけれども、定期的にですね。</p> <p>我々、行政側としましては、皆さんにお集まりをいただいて、報告を、どの程度の進捗状況といいますか、具現化しているかについて、皆さんに報告をしながら、あるいは途中で、皆さんから追加的なもので、また、アイデア、提言があれば、また、お聞きしたいという流れの中で、これからも皆さんの意見を中心に、この地域の活性化、人口減少対策をやって参りたいというふうに思っておりますので、今後ともこれで終わりという意識ではなくて、お付き合いをいただければありがたいと思います。</p> <p>これから我々は皆さんにご報告をして参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>それでは、事務局からこの会の今後のことについて、説明をお願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>今ほど、村長の方からもお話がありましてように、こちらは31年度目標という数値が示されております。</p> <p>これに向けて委員の皆さまから、途中の点検、あるいは意見といったものをいただきながら31年まで進めていくという形になります。</p> <p>平成28年度の当初予算の方に、この委員会の会議費を計上してあります。</p> <p>2回分計上してありまして、2回ないし3回程度実施をしながら、毎年続けていくという形で進めていきたいと考えております。</p>

小林委員長	<p>今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>今、事務局から説明がございましたけれども、今後5年間の31年度までの素案は、本日、皆さまからご了解をいただいて、この案で、行政でやっていくこととなりますが、今後、会は解散しないで、継続する。</p>
司会	<p>はい、継続をしながら28年度も会議費計上しておりますので、ぜひともよろしく願いいたします。</p>
小林委員長	<p>ということは、皆さま方に4回亘って、ご協議をいただいた、あの事業どうなっているのとか。</p> <p>いろいろな委員の皆さまの思いなどを聞く機会が必要だと思えます。</p>
司会	<p>国の方にも報告義務がございまして、こういった場で検証をしたかというところもございまして。</p> <p>泉崎村としては、この委員会を中心に検討をしながら、議会に報告をする形で、国に報告したいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。</p>
小林委員長	<p>本日の協議は全て終了しました。</p>
司会	<p>－閉会－</p> <p>本日、第4回目ということで、委員の皆さまには、大変お忙しい中、委員会に出席をいただきまして、ご協力をいただきましてありがとうございました。</p> <p>この最終案の案をとりまして、人口ビジョンと泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略、こちらは来月3日開会予定の議会の方に、説明する時間を設けていただきまして、ご説明をしながら、国の方に報告をするという形にしたいと思います。</p> <p>今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第4回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p>